

2021年10月15日

各位

会社名 MI Tホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 浩  
 (コード: 4016、東証 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役経営推進センター長 三方 英治  
 (TEL. 043-239-7252)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年10月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月13日の2021年11月期第2四半期決算発表時に開示した2021年11月期(2020年12月1日～2021年11月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年12月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	4,150	144	140	76	37.12
今回修正予想(B)	3,887	67	66	30	15.15
増減額(B-A)	△262	△77	△73	△45	△21.96
増減率(%)	△6.3	△53.5	△52.6	△59.5	△59.2
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	3,851	135	136	79	45.76

#### 2. 修正の理由

売上高については、システムインテグレーションサービスは、引き続き公共系システム案件の売上高が増加したことに加え、エネルギー案件、その他産業案件も拡大したことから、売上高は前期並みで推移していましたが、第3四半期において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出・延長等により、エンジニアの確保が予定どおり進まず、一部機会損失が発生していることから、通期の売上高は、前回発表予想に比べ118百万円減の3,533百万円(対計画比△3.2%)となる見込みであります。

また、ソリューションサービスにおいては、当第3四半期累計期間において、3次元CAD「DynaCAD CUBE」、サブスクリプション型クラウドサービス「WisebookONE」などの新サービスの提供を開始し、新規受注の拡大に注力してまいりましたが、コロナ禍において、商談リードタイムが伸長するなどの影響により、CADソリューション及びデジタルマーケティングの新規受注高が当初予定どおりに進捗していないこと並びに、DX関連新サービスの食事予約クラウドシステム「The Meal」のリリースが予定より遅れたことも影響し、通期の売上高は、前回発表予想に比べ144百万円減の353百万円(対計画比△28.9%)となる見込みであります。

ソリューションサービスでは、引き続き、新たなサービスの開発・提供を推進すると共に、コロナ禍における営業においては、インサイドセールス活動の拡大、オンライン展示会でのリード獲得、販売パートナーの拡大と営業人員の増員により、収益力改善に努めてまいります。

営業利益については、システムインテグレーションサービスは、不採算案件が発生した影響による利益減少があったものの、プライム案件の受注が拡大したことにより利益は回復傾向にあります。一方、ソリューションサービスにおいては、新規案件獲得が当初計画から遅れていることによる売上不足に伴う利益減少に加え、ソフトウェア償却費の増額、並びに、広告宣伝等の販促費や新サービスの開発及び販売体制強化へ向けた先行投資を継続したことにより、通期の営業利益は、前回発表予想に比べ 77 百万円減の 67 百万円（対計画比△53.5%）となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上